



わたくしの支部から

第4回 猿払支部編

猿払村は、今年も多くの出入りがありました。去られた方もいましたが、新しく仲間になられた方もいたりして、数的にはそんなに変わらずかなと思った2017年1学期でした。

猿払支部は、ここ近年、村内陸上大会の日に学習会と懇親会をセットで開くのが通例となってきました。今年も内藤書記長に来ていただき、学習会を開きました。参加人数は、14名でした。新学習指導要領の事、道徳・英語の教科化など、多忙化に拍車がかかってきています。自分達の学校の将来のことですから、真剣です。終わった後、いくつかの質問に討議と続き、少しではありますが、不安がとれたかなと思えました。組合員同士で顔を合わせて話す中で生まれる安心感だと感じました。

参加していただいた組合員の中からの感想をいくつか抜粋させていただくと…

「現代の子ども達が変わるように、教育の仕方を変えていかなければならないが、それに対応することは、とても難しい」とか「いろいろな心配事が増えました。…が実際、やるしかないのでしょう。」と。

アンテナを高くして、知恵を絞りましょう。手をあわせて、前へ進んで行きましょう。

文責：浜鬼志別小学校 氏家 資年



「道徳の教科化」学習資料を発刊！ 「道徳性の教育」を具体化する 教育課程づくりを進めよう！

1学期から実施してきた「学習指導要領の支部学習会」の中では、喫緊の課題として道徳教科化・外国語移行措置に対する心配の声が多く、まずは道徳の教科化に対する考え方をまとめる資料を作成したものです。

道徳の教科化に当たっては、道徳の学習指導要領に定められている「内容項目」が『自己の生き方』にのみ思考を焦点化しているのに対し、私たちが子どもたちに育みたい道徳性には、「自己の生き方、社会構造に対する視点、人間関係（関わり合い）」があるのではないかと考えました。こうした複合的な視点を道徳授業に盛り込むた

めにはどうすべきか、教材文が持つ矛盾や非科学性を乗り越える授業づくりはどうすべきかということとをまとめました。

今年、小学校版として小学校の全組合員と、中学校の各分会に配布します。必要があればお送りしますので、宗谷教組本部にご連絡ください。

第51回中央委員会開催！ 話すこと・集まることで、思いを未来へ…

9月2日に宗谷教組第51回中央委員会を行いました。各市町村・各学校で行事などが重なる中で

代議員を生み出してくださったことに感謝します。発言本数はいつもの中央委員会に比べて少なかつたものの、宗谷教組の運動の到達を確かめ、今後の展望を持つことができる会になりました。

「集うことは元気がながる」

枝幸支部から「若者（みんな）の集い」の報告、幌延支部から支部会議にまだ加入していない先生も来てくれて交流したという経験が語られました。また、浜頓別支部からは「自分組合活動にどう参加していけるか考えていき

たい」という若い先生の頼もしい言葉も、集い合うことの大切さ、「ありがたい」と思った経験を未来につなげていくことを確かめ合うことができました。

「願いを実現させるために」

稚内支部からは教育条件整備の運動をどう進めるのか…という構想を練る過程での議論が語られました。また、猿払支部からは教育課程づくりを学校づくりを基盤にして取り組んでいくことの大切さが語られました。

「組合づくりを前に」

今日的な忙しさと組合



原水爆禁止世界大会に参加して…

第1回「動く分科会『被爆遺構をめぐる』

8月6日から5日間、長崎県で行われた原水爆禁止世界大会に参加しました。4回にわけて、その様子を紹介します。全体集会をはじめ様々な集まりに参加しました。今回は、2日目の「動く分科会『被爆遺構めぐり』」の様子です。

30度を越す暑さの中、三時間半歩き回って遺構を見て回りました。平和ガイドは長崎県の高校の数学の先生。ご自身も被爆2世で、原爆のことを伝えなくてはと平和ガイドをしているそうです。何十回もガイドをしているということで、道中も寄り道をしながらたくさんのお話をしてくれました。

爆心地公園に集合し、半径700mくらいの中にある被爆遺構7ヶ所を見ました。長崎原爆遺跡を構成する5つのうち4つの遺構を分科会で見ました。1つ目は、爆心地。



御影石の標柱の上空500mのところでは原爆は炸裂したそうです。炸裂後1秒でも5000℃もある火球は、もう1つ太陽ができたようだったそうです。2つ目は山王神社の二の鳥居。鳥居は、半分が崩れ片足になっていました。そして、残った半分も爆風を受けてずれたまま残っています。3つ目は、長崎医科大学の門柱。1m四方の大きな石づくりの柱です。爆風で浮き上がった隙間に飛ばされた石がはさまり、10度傾いた状態で時が止まった様になっていました。4つ目は、浦上天主堂の鐘楼台。爆心地から



550mのところであり、直径3mくらいの石づくりのドームが35mもとばされたそうです。これらの遺構は、大きなものを動かしてしまう、爆風の激しさを物語っていました。

文責：稚内南小学校・山本 民
★この連載は4回にわたってお届けします。



言の葉 editorial note

◆私たち教職員組合の運動は、様々な学習会をしたり集まりを企画します。ふと、疑問を持ちました。「そこにある原動力はなんだろう」と。

◆まずは「やりたい」という声があること。本部に

「こういうことしたいね」という声が届くと、素早く動きが創れます。そして、情勢を見て作戦を練ったり、教職員組合運動として「これ大事にしたい」ということを念頭に集まりを考えたりもします。そんな中にある想いは「いい集まりだったね」って元気が出ればいいなあ…と。

◆おもて面の様々な集まりにたくさんの方が集まってくれるとうれしいです。

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.11 平成29年9月7日発行
発行責任者:古川 正史

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
web: http://www.soya-teachers.org Mail: info@soya-teachers.org



宗谷教組 2016 秋～2017 冬の取り組み

集う秋、はじまる!

キャンペーン「組合を愉しむあなたは、明日を楽しくできる人。」

宗谷教組主催・イチオシの取り組み

9/30 宗谷教組「秋の教研集会」



日時:9月30日(土)13:30~17:30
場所:稚内北星学園大学
参加費:無料

第2部 分科会

前期、取り組んだ教育実践を持ち寄りませんか?
資料は、学級通信や指導案などでOK!
もちろん、オブザーバー参加もお待ちしています。

【開設予定の分科会】

- ①中学校国語、②中学校数学、③中学校理科、④中学校社会、⑤中学校英語、⑥音楽(小・中共通)、⑦保健体育(小・中共通)、⑧図工・美術(小・中共通)、⑨特別支援教育、⑩小学校

第1部 ミニシンポジウム

テーマ:「どうする、『道徳教科化』あと半年で、考えるべきこと」

宗谷の秋は忙しいものです。そのうえでも宗谷教組として秋から冬に向けてたくさんの方の企画を行うのは、「愉しんだあとには、元気が出る。それが明日の教育を担う私たちの力になる」と信じているからです。そんな、組合運動の良さを「組合を愉しむあなたは、明日を楽しくできる人。」というキャッチフレーズにしました。ぜひ、あなたも日程的に可能なものがあれば、一緒に集いましょう。愉しむことが明日の元氣と楽しさにつながります。

全道つながりができる! 道教組・高教組主催の取り組み

9/23 道高教組「青年部教研」

道高教組青年部が中心になって行う「青年部教研」です。

開催日

9月23日(土)~24日(日)
(23日 13:00~20:30 24日 9:00~12:00)

全体講演

13:00~15:00
「教員の働き方、部活動問題」
内田 良先生(名古屋大学准教授)

場所

講演会場 旭川市民文化会館3F大会議室
(旭川市7条通り9丁目)
研修会場 東川町キトウシ森林公園家族旅行村
(東川町西4号北43)

講座

- ①授業改善、評価
- ②学級経営とHR活動
- ③自主性を伸ばす生徒会活動
- ④高等学校における特別支援教育
- ⑤超過勤務解消とアフター5の充実

10/7~8 道教組青年部「オトナの宿泊学習」

道教組青年部が毎年続けている全道の若い先生方の交流企画です。今年は小樽・余市で行われます。

日時:10月7日(土)午後~8日(日)午前
内容:7日は余市・ニッカウヰスキー見学と交流会
8日は小樽市内を「プラタモリ」的散策

◆組合員には交通費が出ます。宿泊費の補助も!
全道の若い先生とつながりを作りましょう!!



11/3~4「合同教育研究全道集会」

北海道の大きな教育研究集会です。毎年、宗谷からは30~40人の先生方が参加します。

テーマ討論 3日10:15~12:30

- ①新「共通テスト」で北海道の教育はどうか
- ②学校が変わってしまう~新学習指導要領の実態~
- ③地域で考えよう、子どもの貧困
- ④北海道150年を教育の場から問い直す

教育の夕べ 3日 17:45~19:00

ジャーナリスト 齋藤 貴男さん

分科会 3日 13:30~16:30/4日 9:30~15:00

- (1)国語教育 (2)外国語教育 (3)社会科教育 (4)数学教育
- (5)理科教育 (6)美術教育 (7)書教育 (8)音楽教育
- (9)技術・職業教育 (10)家庭教育 (11)保健・体育教育
- (12)総合学習・生活科 (13)特設「道徳」
- (14)学校と家庭の生活指導 (15)教育条件確立の運動
- (16)教育課程と学校づくり (17)地域における子育て・学習運動
- (18)地域と学校の文化・スポーツ活動 (19)国民のための大学づくり
- (20)障害児・障害者の教育と福祉 (21)環境・公害と教育
- (22)平和・憲法、人権・民族と教育 (23)子ども・青年の発達と教育
- (24)不登校・登校拒否・高校中退

1/9~12 飛び出せ!道外!!!「沖縄を学ぼう」

北海道から飛び出して全国の実践家に会ったり、全教の組合員と交流したりする企画です。前回は2011年に東京に行き、フェスタの講師に会いに行きました。今回の「飛び出せ道外!」のターゲットは沖縄。昨年度、ゆいま〜るに行った人も、行かなかった人も、共に沖縄の歴史と今を学びましょう。

※交通費、宿泊費は各自負担です。
※その他、見学料などがかかります。
◆千歳から途中合流なども相談次第です。

それぞれの申込みはこちらから

◆写真に撮って宗谷教組本部までメールもOK



宗谷教職員組合 秋から冬の取り組み 参加申し込み書

お名前 _____
学校名 _____
連絡先 _____

9/23 道高組「青年部教研」

参加に○を
【 】講演会
【 】講座
【 】交流会
参加講座の番号

9/30 秋の教研集会

参加に○を
【 】シンポジウム
【 】分科会
参加分科会名

10/7 オトナの宿泊学習

参加する場面に○を
【 】7日ニッカウヰスキー
【 】7日交流会
【 】宿泊(軒旋ホテル)
【 】8日小樽散策

11/3-4 合同教研

参加する場面に○を
【 】テーマ討論
【 】分科会(3日)
【 】分科会(4日)
【 】大交流会(3日夜)
【 】全体講演

1/9~12 飛び出せ道外

どちらかに○を
【 】参加します
【 】内容・費用を詳しく知りたいです

切り取り